



慶應義塾大学ビジネス・スクール

ソフトバンク・インベストメント株式会社

5

2005年3月24日、株式会社フジテレビジョン（以下、フジ）、株式会社ニッポン放送（以下、ニッポン放送）とソフトバンク・インベストメント株式会社（以下、SBI）の三社は、「メディア関連の新興企業に投資するベンチャーキャピタルファンド「SBI ビービー・メディアファンド」を共同設立する」と発表した。そして、ニッポン放送の保有するフジ株（フジの全議決権の14.67%相当）がSBIに貸し出された。この株券消費貸借により議決権はSBIに移り、同放送は「実質的にフジの株主でなくなる。」

10

ニッポン放送は、株式会社ライブドアによる敵対的買収の結果、議決権の過半を握られ、その影響力がフジにまで及ぼうとしていた。今回の貸株は、「ニッポン放送の経営権を握ったライブドアの影響力が、フジに及ぶのを防ぐ狙いとみられる。」^[1]

15

【SBIの発展】^[2]

SBIは、1999年7月にソフトバンクグループの金融統括会社ソフトバンク・ファイナンス株式会社（以下、ソフトバンク・ファイナンス）^[3]の出資により、「ベンチャー企業への投資と株式公開支援」^[4]を目的として設立された。翌2000年3月には、当初出資金1505億円にて国内インターネット関連企業への投資を目的とする「ソフトバンク・インターネット・テクノロジーファンド（以下、ITファンド）」を立ち上げた。ソフトバンク・ファイナンスが金融機関や機関投資家から1000億円集め、自らも500億円を出資した。平成13年9月期連結決算短信には、経営理念として「ベンチャー企業に対するインキュ

20

25

^[1] 2005/03/25, 日本経済新聞 朝刊

^[2] http://www.sbinvestment.co.jp/company/history/history_top.html

^[3] ソフトバンク株式会社による100%子会社代表北尾吉孝氏（2005年3月現在）

^[4] 1999/09/07, 日本経済新聞 朝刊

本ケースは、クラス討議の資料とするために、慶應義塾大学経営管理研究科准教授 小幡 績によって作成された。経営管理の巧拙を記述したものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

30

Copyright © 小幡 績（2021年12月作成）